

2023年9月20日

茨城マスタース陸上競技連盟
会 長 北林 光雄
(公印略)

茨城マスタース練習会へのご案内

皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より茨城マスタース陸上競技連盟に対しご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、今年度も10月22日に記録会を開催する予定でしたが諸般の事情により

大会を取止めて同日に練習会をおこなう事になりました。

つきましてはマスタース会員の皆様および補助員などのご協力を頂いております

学校の方々にも開放しますので、ご都合のつく方はご参加くださるようご案内申し上げます。

尚、内容につきましては別紙の「練習会の概要」をご覧ください。

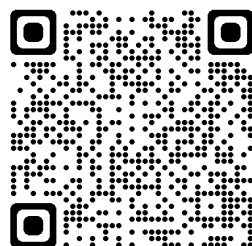
今回はタイムクロックを使用し

1. アップシューズ走とスパイク走との差
2. フローテング走(流し)と全力走との差
3. スタート走と加速走との差

など様々な体験ができますので是非ご利用ください。。

緊急時の連絡は北林光雄 会長へ
TEL・FAX:0293-43-0691 携帯:090-1776-5800
PCメール:kitabayashi_4@yahoo.co.jp

ホームページ



第63回茨城マスターズ記録会中止のご説明

10/22(日)開催予定の第63回茨城マスターズ陸上競技記録会は
競技場の公認が9月末に切れるとの書面による正式通達が
7/3(月)にありました。

これにより現状のまま開催しても全ての記録が非公認の扱いとなって
まいりますので、当連盟としては下記のような検討をしました。

1. 同日に非公認大会として開催
2. 公認期間内への日程変更
3. 別会場での開催
4. 練習会への変更
5. 大会の中止

しかし、既に各競技団体共ハイシーズンに入っている事から

今からの日程変更や会場確保は極めて難しく、また諸般の事情も勘案し

協議の結果、上記4. の練習会にする事にしました。

練習会の概要

1. 会場:石岡市運動公園陸上競技場
2. 日時:10/22(日) 9:30~12:30位 (3時間程度)
3. 資格:マスターズ登録会員(県内外問わず)+支援者+協力者
マスターズ大会に役員や補助員としてご協力頂いている方もOKです。
4. 参加費:無料 (競技場の借用料等は茨城マ負担で貸し切りです)
5. 受付:事前申込は不要、当日受付けで氏名、マスターズ登録番号を記帳
6. 内容:自主練習とし、用器具の準備、撤収、計測などは参加者同士で行なう
7. その他:
 - ・参加者はアスリートビブスを着用
 - ・途中からの参加、途中での終了も可
 - ・実施できない種目や制約を設ける種目について
ハンマー投、重量投、円盤投は投てきサークル囲いの使用不可の為、実投はできません。
 - ・希望者には区間加速走(30m、60mなど)の計測が可能予定
 - ・悪天候や交通網遮断などの予報や警報が発令される場合は中止する事がある
 - ・障害や事故などについては自己責任とし主催側の責としない
 - ・飲み物、昼食などは各自でご準備ください
8. 支援者:役員若干名

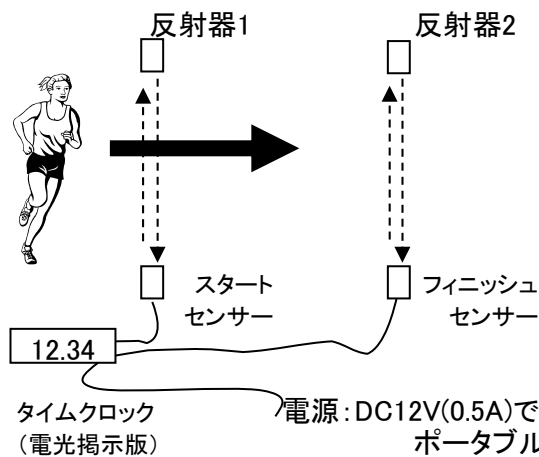
「タイムクロックでの計測方法」

2023.9.20:北林

この装置はストップウォッチのような機能を有しており1/100秒単位で計測することができます。具体的にはスタートボタンを押してから、フィニッシュボタンを押すまでの時間を表示します。また、スタートボタンの代わりに電子ピistolやセンサーの信号でスタートさせる事もできます。同じく、フィニッシュボタンの代わりに別のセンサー信号を使用することもできます。

使用例1:30m区間加速走

1.機材は下図のように配置してください。尚、走る区間は150m程に延ばす事も可能です。



- 2.センサーと反射器を対向させるとセンサーからの光は反射器で反射されセンサーに戻って来ます。
- 3.そこを走者が通過すると光が遮断されるので、その信号をスタートやフィニッシュとして利用しています。
- 4.尚、複数の走者の場合は重なって通過する事もある為、正しい計測が出来ませんので一人ずつ走ってください。
- 5.タイムクロックはスタートセンサーが検知すると自動的に開始し、フィニッシュセンサーが検知すると停止します。
- 6.表示を元に戻すにはリモコンの「リセット」ボタンを押してください。
- 7.タイムクロックには様々な機能がありますので、電源オンの直後にはリモコンで下記を操作してください。
1/100S:0.01秒単位で計測できます。↔ Sec:1秒単位で計測できます。
1:1回のみ計測できます。↔ 99:スプリットタイムとして最大99回計測できます。
尚、スプリットを停止するには[End]を、
記録を読み出すには(▼)(▲)を押してください。
- 8.機材の設置が済みますと、上記6.の操作のみですのでご自身で運用ができます。

使用例2:長距離走でスプリットタイムも表示させたい場合

- 1.簡単な方法としては、タイムクロックからスタートセンサーとフィニッシュセンサーを取り外しリモコンを使用します。
- 2.上記7.の「99」を押下する。--->スプリットタイムのモードになります。
- 3.スタートの時に「Start」を押下する。
- 4.計測したい地点を通過する都度「Stop」を押下する。--->スプリットタイム表示後、自動的に計測が続きます。
- 5.ゴールの時も「Stop」を押下し、その後「End」を押下する。--->これで表示が停止します。
- 6.スプリット記録を読み出すには(▼)(▲)を押してください。